

< 交付金の具体的使途・推進体制 >

令和5年度交付金の具体的使途

1 ひょうごフィールドパビリオン連携事業

大阪・関西万博に向けて兵庫県が取り組むひょうごフィールドパビリオン構想を踏まえ、市内の観光需要・地域資源等の調査分析・観光ビジョン等の策定を進めるとともに、同構想と協調し、市内におけるSDGsの理念を捉えた体験型観光コンテンツ等の創出と、情報発信の強化や観光交流基盤の強化を図る。

- (1) オープンファクトリー立上げ・運営支援事業
オープンファクトリー立上げ・運営助成 1,500千円
- (2) 観光交流情報発信強化事業
国内向け動画制作費20千円
観光情報資材作成費 860千円
- (3) 観光交流基盤強化事業
播州織生地マルシェ開催事業費 1,000千円
観光案内人・ボランティア育成事業費 200千円
- (4) 観光交流事業評価検証事業
観光動態状況分析・検証（アンケート調査等） 2,000千円

2 SDGs経営普及・促進事業

市内事業者を対象に、SDGsの普及啓発を図るとともに、SDGs推進パートナー制度（事業者等による主体的な取組の促進するプラットフォーム）の構築・運営やSDGsに貢献する新たな事業展開を支援する。

- (1) 産業イベント等開催事業
イベント開催事務費・補助費等 1,250千円
- (2) SDGs推進パートナー制度運営事業
SDGs推進パートナー制度運営事務費等 24千円
- (3) SDGs貢献型ビジネス創出事業
SDGs貢献型ビジネス支援助成等 1,500千円

3 循環型・未来型農業推進事業

農業の将来構想や取組を定める農業ビジョンを官民連携で策定するとともに、循環型農業・地産地消の更なる展開や農業を支える基盤として、人材育成や法人化等を推進する。

- (1) 農業ビジョン策定事業
学識経験者等報償費等 250千円
- (2) 次世代型農業推進事業
インターンシップ等講師報償費等 388千円

4 地域産業を支える人材育成事業

新たな産業人材、未来の地域人材を育成・創出するため、女性の起業・就労支援、

事業者等への啓発、異業種交流等に取り組むとともに、若年層を中心にSDGsの理念の普及啓発を図る。

- (1) 輝く・働く女性応援事業
女性リーダー・女性活躍セミナー等報償・事務費 600千円
女性起業・就労相談支援報償費・事務費 870千円
- (2) 異業種交流促進事業
異業種交流研修・セミナー等開催事務費・委託費 800千円
- (3) 若者等SDGs普及啓発・活動支援事業
研修等講師報償費100千円
高校生SDGs地域・探究活動等助成300千円

※実施計画上の金額であり、実際の予算額とは異なる場合がある。以下同じ。

令和6年度交付金の具体的使途

1 ひょうごフィールドパビリオン連携事業

大阪・関西万博に向けて兵庫県が取り組むひょうごフィールドパビリオン構想と協調し、市内におけるSDGsの理念を踏まえた体験型観光コンテンツ等の創出・モデルツアー等の実施を進めるとともに、情報発信の強化や観光交流基盤の強化を図る。

- (1) フィールドパビリオンコンテンツ造成支援事業
フィールドパビリオンコンテンツ造成・ブラッシュアップ助成 400千円
- (2) オープンファクトリー運営支援事業
オープンファクトリー運営助成2,000千円
- (3) 観光交流情報発信強化事業
インバウンド対応等観光情報資材作成費 1,300千円
モニターツアー費 700千円
フィールドパビリオン情報発信費・PR資材作成費 236千円
- (4) 観光交流基盤強化事業
播州織生地マルシェ開催事業費 1,000千円
観光案内人・ボランティア育成事業費 200千円

2 SDGs経営普及・促進事業

市内事業者を対象に、SDGsの普及啓発を図るとともに、SDGs推進パートナー制度（事業者等による主体的な取組の促進するプラットフォーム）の運営やSDGsに貢献する新たな事業展開を支援する。

- (1) 産業イベント等開催事業
イベント開催事務費・補助費等 1,650千円
- (2) SDGs推進パートナー制度運営事業
SDGs推進パートナー制度運営事務費等 118千円
- (3) SDGs貢献型ビジネス創出事業

SDGs貢献型ビジネス支援助成等 1,450千円

ソーシャルビジネス立上げ等中間支援委託 1,500千円

3 循環型・未来型農業推進事業

新たに策定した農業ビジョンに基づき、循環型農業・地産地消の更なる展開や農業を支える基盤として、人材育成や法人化等を推進するとともに、未来型農業の実証実験や環境に配慮した6次産業化等に取り組む。

(1) 次世代型農業推進事業

インターンシップ等講師報償費等 330千円

農業未来技術導入普及啓発費等 1,030千円

(2) 環境配慮型6次産業化推進事業

廃棄イチゴ等の製品化・販路開拓に係る業務委託費 2,400千円

4 地域産業を支える人材育成事業

新たな産業人材、未来の地域人材を育成・創出するため、女性の起業・就労支援、事業者等への啓発、異業種交流、播州織産地若手クリエイター等の制作機会の創出等に取り組むとともに、若年層を中心にSDGsの理念の普及啓発と取組実践の促進を図る。

(1) 輝く・働く女性応援事業

女性リーダー・女性活躍セミナー等報償・事務費 580千円

女性起業・就労相談支援報償費・事務費 660千円

(2) 異業種交流促進事業

異業種交流研修・セミナー等開催事務費・委託費 700千円

(3) 播州織デザイン開発チャレンジ事業

デザイン開発コンテスト開催費 400千円

播州織生地・サンプル製作費 1,080千円

(4) 若者等SDGs普及啓発事業

SDGs研修等講師報償費等 380千円

高校生SDGs地域・探究活動等助成450千円

令和7年度交付金の具体的用途

1 ひょうごフィールドパビリオン連携事業

大阪・関西万博に向けて兵庫県が取り組むひょうごフィールドパビリオン構想と協調し、観光誘客を図るとともに、情報発信の強化や観光交流基盤の強化を図る。

(1) フィールドパビリオン運営支援事業

オープンファクトリー運営助成 1,500千円

オープンファクトリー環境整備助成 1,500千円

フィールドパビリオン誘客活動支援助成費 1,000千円

(2) 観光交流情報発信強化事業

動画制作・観光情報資材作成費 1,700千円

モニターツアー費 500千円

観光プロモーション経費 500千円

(3) 観光交流基盤強化事業

播州織生地マルシェ開催事業費 1,000千円

フィールドパビリオン等案内業務委託料 200千円

情報発信・イベント出展等に係る皆生年度任用職員人件費 600千円

2 SDGs経営普及・促進事業

市内事業者を対象に、SDGs推進パートナー制度（事業者等による主体的な取組の促進するプラットフォーム）の普及やSDGsに貢献する新たな事業展開を支援するとともに、当該取組の横展開や地域への波及を目指し、当該事業者等のSDGs取組の見える化を図る。

(1) SDGsコンセプトの産業イベント等開催事業

イベント開催事務費・補助費等 1,650千円

(2) SDGs推進パートナー制度普及事業

SDGs推進パートナー制度・理念普及事務費等 146千円

SDGs推進事業者等取組発信費 1,500千円

(3) SDGs貢献型ビジネス創出事業

SDGs貢献型ビジネス支援助成等 2,000千円

ソーシャルビジネス立上げ等中間支援委託 1,500千円

3 循環型・未来型農業推進事業

農業ビジョンに基づき、循環型農業・地産地消の更なる展開や農業を支える基盤として、人材育成や法人化等の推進、未来型農業の導入を推進するとともに、地域で生産された魅力ある農産物の普及・販売促進に取り組む。

(1) 次世代型農業推進事業

インターンシップ等講師報償費等 320千円

農業未来技術導入普及啓発費等 1,060千円

(2) 地域産品プロモーション事業

「日本酒・黒田庄和牛」イベント開催 7,400千円

(3) 環境配慮型6次産業化推進事業

廃棄・余剰農産物等の製品化・販路開拓に係る委託費 3,025千円

4 地域産業を支える人材育成事業

新たな産業人材、未来の地域人材を育成・創出するため、女性の起業・就労支援、事業者等への啓発、異業種交流、取組成果の見える化等に取り組むとともに、若年層を中心にSDGsの理念の普及啓発と取組実践の促進を図る。

(1) 輝く・働く女性応援事業

女性リーダー・女性活躍セミナー等報償・事務費 760千円

女性起業・就労相談支援報償費・事務費 820千円

(2) 異業種交流促進事業

異業種交流研修・セミナー等開催事務費・委託費 700千円

- (3) 若者等SDGs普及啓発事業
SDGs研修等講師報償費・子ども向けイベント開催費 360千円
高校生SDGs地域・探究活動等助成 450千円
- (4) 播州織製品開発チャレンジ事業
サステナブル播州織製品の開発委託・補助 1,000千円
デザイン商標登録・情報発信費 350千円

5 ひょうごフィールドパビリオン連携事業（文化観光）

市出身美術家の作品展示に向けて、フィールドパビリオンにも認定されている岡之山美術館の機能を強化するとともに、フィールドパビリオン構想をはじめとした誘客事業とも連携し、文化芸術を切り口とした観光誘客を図る。

(1) 岡之山美術館PR強化事業

市出身美術家の作品収蔵・展示に向けて、フィールドパビリオンにも認定されている岡之山美術館の機能を強化するとともに、文化芸術を切り口とした観光誘客を図る。

デジタルアーカイブ化・デジタル展示、展示機能強化助成 4,664千円

ホームページリニューアル・パンフレット作成・配布経費助成 1,500千円

(2) 特別企画展開催事業

特別企画展の開催費助成 6,787千円

(3) 岡之山美術館機能強化事業

作品展示・収蔵環境整備に係る助成 18,769千円

推進体制

1 庁内体制

SDGs推進部局を中心に、産業振興担当、女性活躍推進担当、子ども・若者活躍支援担当などが連携して、本事業を推進する。

2 官民連携

行政はプラットフォームや枠組みの構築を中心に役割を担うこととし、民間では、金融機関による伴走型支援を必要に応じて活用しながら、自らの資金やアイデアを生かして持続可能な事業展開を図っていく。イベント等の企画では、移住者やクリエイターなどの知見を活かすことで、魅力向上を図る。

3 地域間連携

補完性の原則に基づき、基礎自治体と県とで役割分担を行うとともに、近隣町とは共通する地域資源や生活・経済圏を切り口に、発信力の強化や地域資源の魅力向上、圏域内での経済循環に創出に取り組む。

4 事業推進体制

商工会議所、移住者・クリエイター、地域産業関係者、行政職員等から構成する西脇・多可万博交流活性化推進協議会を近隣市町と連携して設置・開催する。